

第 95 回番組審議委員会議事録

日時：令和 3 年 11 月 17 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 8 名
2. 出席委員数 4 名
3. 出席委員の氏名
稲葉美津江 委員長・青木洋一 委員・内藤佑樹 委員・渡邊朱美 委員（順不同）
4. 放送事業者出席者名
小沢教司 代表取締役社長・山本茂 放送局長

稲葉委員長ご挨拶：今月から委員長を務めさせていただきます。
色々とお世話になると思いますがよろしくお願い致します。

小沢：今日もお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
今回から渡邊朱美さんが審議委員に加わっていただきましたので一言ご挨拶を頂戴したい
と思います。

渡邊委員：富士宮の神田商店街にあるこながい呉服店の渡邊です。これからよろしくお願
い致します。

番組審議

- ・テーマ 番組「文集ふもとから」
- ・放送日時 毎週月～木曜 7：20～7：23
- ・出演 ナビゲーター 亀井留美
- ・作品 11/30 O.A. 「マスクの中の気持ち」
10/28 O.A 「お父さん名古屋へ」

- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回お聴きいただくのは、朝のエフライムスという番組の中で放送している、
「文集ふもとから」というコーナーです。ふもとに掲載されている作文の中から抜粋して
ナビゲーターが朗読しています。長年放送していて大変反響のあるコーナーです。

約 10 分後

山本：それでは審議をお願い致します。

内藤委員：朗読ってなかなか聴く機会がないのでこういうコーナーがあるのは良いと思いました。

稲葉委員長：作文も上手で、小学4年生でこんな文章がかけるのは立派ですね。

青木委員：作文だけではなく詩もあるのでしょうか？

山本：ふもと自体には詩の紹介もありますが、ラジオでは作文を紹介しています。

小沢：過去には読まれたお子さんのおじい様からお礼の電話がかかってきたこともありました。

渡邊委員：ふもとを耳で聴くというのもいいですね。

山本：実際に親御さんから音源が欲しいという要望もあります。

稲葉委員長：朗読許可をとるときに事前にCDが欲しいかどうか要望も聞いたらいいのではないかと思います。

青木委員：選ばれたお子さん自らが読みたいという人もいないのでしょうか。

山本：そのアイディアは過去にあったのですが、読む能力にばらつきもあるので実現はしていません。

青木委員：現在ラジオエフで学生が参加しているラジオエフ部の学生に読んでもらうのもいいかもしれませんね。作品を朗読した後に同じ学生目線から感想などを言ってもいいかもしれません。

稲葉委員長：朗読をしている亀井さんは耳障りがいい話し方で、トーンもとても聴きやすいですし活舌もよいですね。

青木委員：ふもとは富士・富士宮の人はみんな知っているの、聴くと童心に戻りますね。

稲葉委員長：ふもとは書かされたという思い出もありますが、いい思い出です。
今の子たちはどんなことを書いているのかとても楽しみです。

渡邊委員：確かにふもとは親近感があります。

青木委員：運営上の問題があるとは思いますが、音源をアップしたりラジオエフ部で取り上げたり、できることがあれば反映して頂きたいと思います。

山本：老若男女で共通意識があるものはなかなかないと皆さんの意見を聞いて思いました。
20年前にふもとに採用されたあの子は今どうしているのか？など、ふもとを軸にして他の番組づくりなども出来そうな気がします。

内藤委員：今文筆している方もいらっしゃるかもしれないですし、
その後を追ってみるのもいいかもしれないですね。

渡邊委員：このコーナーは尺的にもちょうどよくて聴きやすいと思いました。

山本：それでは今日はこの辺りで終了したいと思います。

小沢：次回は年明け1月19日水曜日午後1時半からです。
今日はありがとうございました。